

人間社会学部／社会福祉コース	職名	准教授	氏名	奥村 賢一
----------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。博士（社会福祉学）。主な研究テーマは以下の三点です。

一点目は、「学校ソーシャルワーク実践に関する研究」です。不登校をはじめとする種々の教育課題を改善していくため、スクールソーシャルワーカーに求められる専門的役割や機能について実証研究を中心に行っています。二点目は、「児童虐待防止に向けた家族支援に関する研究」です。児童虐待を早期発見・未然防止していくための家族支援に関する具体的方法について研究を行っています。三点目は、「知的障害・発達障害（児）者の地域生活支援に関する研究」です。知的障害・発達障害（児）者の地域生活の充実に向け、地域の有機的ネットワークを活用した社会資源の開発・開拓および障害特性に対応したソーシャルワーク実践を研究しています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 奥村賢一（2023）「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程・実習プログラムの変遷と展開課題—福岡県立大学における教育実践報告からの検討—」『福岡県立大学人間社会学部紀要』32(1), 143-154.
- ・ 奥村賢一（2023）「障害者権利条約第 24 条「教育」の改善勧告（総括所見）を受けて—日本の特別支援教育とインクルーシブ教育システムの課題—」公益社団法人日本知的障害者福祉協会『障害福祉研究さぼーと』70（2）38-44.
- ・ 金澤ますみ・奥村賢一・郭理恵。野尻紀恵編（2022）『三訂版 スクールソーシャルワーカー実務テキスト』, 学事出版.
- ・ 奥村賢一（2022）「第 4 章 援助論としてのソーシャルワーク」「第 6 章 子どもと家庭に対する支援—虐待と貧困から捉える子ども家庭福祉—」「第 11 章 学校を拠点に実践を行うスクールソーシャルワーカー—子どもの教育保障に向けたソーシャルワーク—」横山登志子編『社会福祉実践とは何か』放送大学教育振興会.
- ・ 奥村賢一（2022）「知的障害児・者の家族支援」公益社団法人日本知的障害者福祉協会『障害福祉研究さぼーと』69（1）34-37.

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 奥村賢一（2022）「子ども虐待防止に向けた学校でのスクールソーシャルワーカーの役割」basic lecture 演者，日本子ども虐待防止学会第 28 回学術集会ふくおか大会，福岡サンパレス.
- ・ 奥村賢一（2022）「自治体へのスクールソーシャルワーカー配置促進に向けた課題分析—小中学校教員と市町村教育委員会の認識から考える」コメンテーター，日本学校ソーシャルワーク学会第 16 回全国大会，分科会，北星学園大学.

- ・ 奥村賢一 (2022) 「研究の「問い」立てに必要な視野：実践の科学化、研究成果の社会実装」シンポジスト，日本学校ソーシャルワーク学会第16回全国大会，分科会，北星学園大学。
<報告書>
- ・ 奥村賢一・原田直樹・河野高志ほか (2024) 「令和5年度文部科学省委託調査スクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究 調査研究報告書」238.
- ・ 奥村賢一 (2023) 「アドボカシーの概念—子どもが等しく学べる環境を—」『あらゆる子どもにアドボカシーの実現を 2022年度報告書』40.
- ・ Kenichi Okumura (2022) Parent Support Services -The role of School Social Worker-, Asia Network of School Social Work Newsletter , 6, 2-4.

③過去の主要業績

- ・ 門田光司・奥村賢一 (2009) 『スクールソーシャルワーカーのしごと—スクールソーシャルワーカーのための実践ガイド』中央法規出版.
- ・ 奥村賢一 (2009) 「不登校児童生徒の状況改善に向けた家族支援の有効性に関する一考察—パワー相互作用モデルを基盤にした学校ソーシャルワーク」『学校ソーシャルワーク研究』第4巻.
- ・ 奥村賢一 (2009) 「ストレングスの視点を基盤にしたケースマネジメントの有効性に関する一考察—軽度知的障害者の地域生活支援実践を通して」『社会福祉学』第50巻，第1号.

3. 外部研究資金

文部科学省（令和5年度いじめ対策・不登校支援等推進事業）「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」，104万円，2023年度.

科学研究費（基盤研究C）「子スクール（学校）ソーシャルワーク実習・実習指導プログラムの開発」117万円，2021年度～令和2023年度.

科学研究費（基盤研究B）「子どもの貧困を支援するスクールソーシャルワークの介入プログラム構築とその評価」1,755万円，2019年度～2023年度.

4. 受賞

5. 所属学会

日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本ソーシャルワーク学会、日本子ども虐待防止学会、福岡県立大学社会福祉学会

6. 担当授業科目

【学 部】不登校・ひきこもり援助論・2単位・1年・前期、子供学習支援論・1単位・1年・後期、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・2単位・2年・通年、子ども家庭福祉論A・2単位・2年・前期、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・1単位・3年・通年、ソーシャルワーク実習A・2単位・2年・後期、ソーシャルワーク実習B・4単位・3年・通年、社会福祉学演習・4単位・3年・通年、ソーシャルワーク演習D・1単位・3年・後期、学校ソーシャルワーク

論・2単位・3年・後期、学校ソーシャルワーク実習指導・1単位・3年～4年・通年、学校
ソーシャルワーク実習・2単位・4年・後期、子ども家庭福祉論B・2単位・3年・後期、卒
業論文・6単位・4年・通年

【大学院】特別研究Ⅰ・4単位・1年、特別研究Ⅱ・4単位・2年、子ども家庭福祉研究A・2
単位・1・2年・前期、子ども家庭福祉研究B・2単位・1・2年・後期

7. 社会貢献活動

一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会・副会長

公益社団法人北九州市障害者相談支援事業協会・理事

NPO法人福岡県子どもアドボカシーセンター・理事

日本学校ソーシャルワーク学会・査読委員

福岡県教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー

福岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー

福岡市こども・子育て審議会・委員

福岡市登校支援対策会議・副委員長

福岡市いじめ防止対策推進委員会・副委員長

福岡県社会福祉審議会・臨時委員

田川市要保護対策地域協議会代表者会議・委員

香春町いじめ防止等対策委員会・副委員長

8. 学外講義・講演

福岡県不登校児童生徒支援強化事業研修体制整備における研修会「不登校児童生徒のケースマ
ネジメント」福岡県教育センター，2023年7月。

令和5年度小竹町人権講演会「子どもの人権」小竹町中央公民館，2023年7月。

教育・福祉虐待対応職員合同研修「模擬事例から学ぶ教育と福祉の協働」子どもの虹情報研修
センター，2023年8月。

長野県スクールソーシャルワーカー第3回実務者会「児童虐待防止に向けた学校ソーシャルワ
ークースクールソーシャルワーカーの専門的役割を中心に」長野県教育委員会，2023年8月。

不登校児童生徒への支援に生かす教育相談「不登校児童生徒の理解と支援ーソーシャルワーク
の視点からー」福岡市教育センター，2023年8月。

令和5年度児童虐待防止講演会「児童虐待防止に向けた孤育て支援ーソーシャルワークの視点
からー」福智町地域交流センター，2023年11月。

2023年度子ども理解を深めるための連続講座 in KURUME「今、学校に求められる子どもの居場
所づくり」エールピア久留米，2024年2月。

9. 附属研究所の活動等

不登校・ひきこもりサポートセンター教員スタッフ